

選 評

東 畑 謙 三

この建築は県庁の通例として議場部分と庁舎部分とよりなり、前者は2階の平面的な建物、後者は9階建の立体的な建物、何れも鉄筋コンクリート造である。県民の家と云う課題を設計と施工との技術で答えたものである。

狭少な敷地の中に一階部分の大半をピロティとして公共的に提供し、周りの庭園技法と相まって公衆に親しさをあたえる様に企画されている。又瀬戸内海の風景並びに背景をなす紫雲山に調和する様に実用性を充分そなえたバルコニーを四周に廻らし斬新な一大塔屋を形成している。尚使用材料に地方産の岩石を大量に採用して県民に答えている。

柱、梁、庇裏、庇の手摺等鉄筋コンクリートの大部分は何れも打放しであり、而も鉄筋比が標準より多いにも拘らず特殊の工法を創意工夫して仕上り面が巧みである。

各種寸法に総て一定尺度のモジュールを使用し、単位基準を30cmとして尺度を数列化し施工方法の簡易化、移動間仕切の機動性等に充分効果を上げている。

建物の中2階建と9階建との2つの部分に重量の大差あり、又全体に地下室なきに拘らず不同沈下をみとめず、又両者間のつなぎの部分にも亀裂を生じていない。

スケルトンのコンクリート打放ち部分と全面開口のサッシュとの間の取付け工法は同様建物に於ていつも問題になる個所であるが綿密に施工され数度の台風にあっても特別の事故がなかった。

又竣工後の清掃が行届き、官庁建築の管理方法の指針をなしている。

之れを要するに企画、設計、施工、管理の各方面共地方官庁建築の代表的なものとして推薦する。

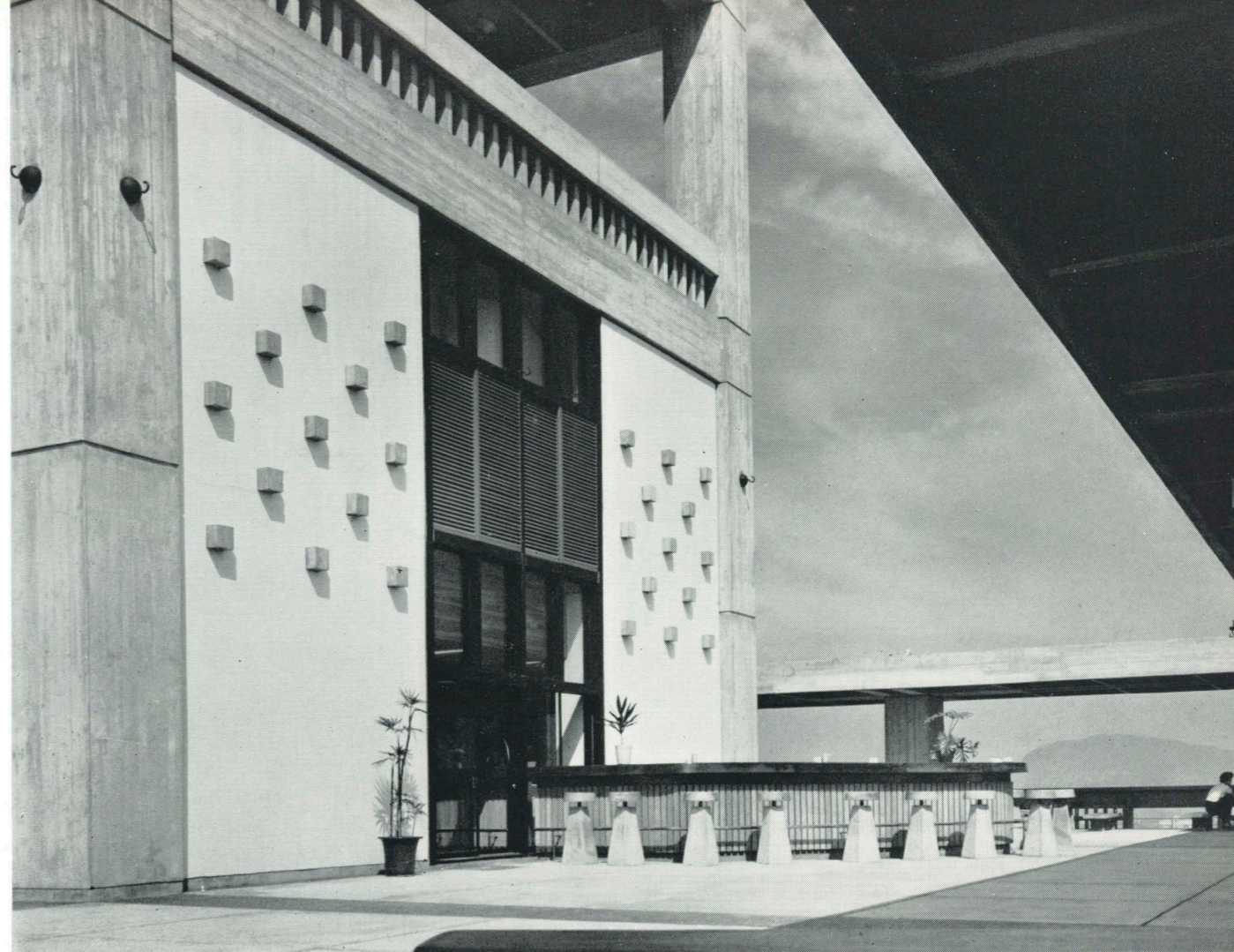
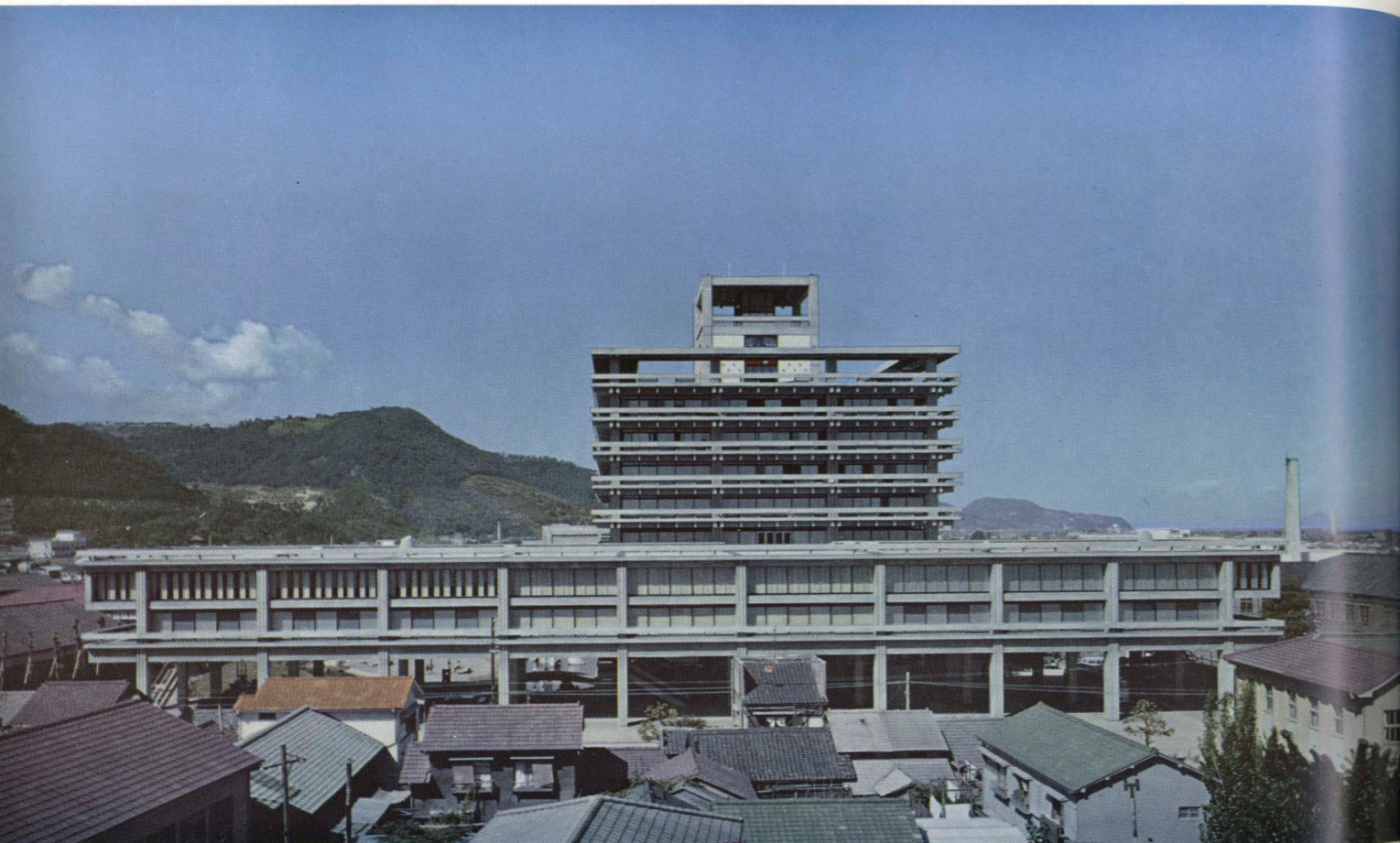
NO. 5

## 香 川 県 庁 舎

所在地 高松市天神前  
設 計 丹下建三計画研究室  
施 工 株式会社 大林組  
竣 工 昭和30.12~33.5.26(2年6ヶ月間)

香 川 県 庁 舎

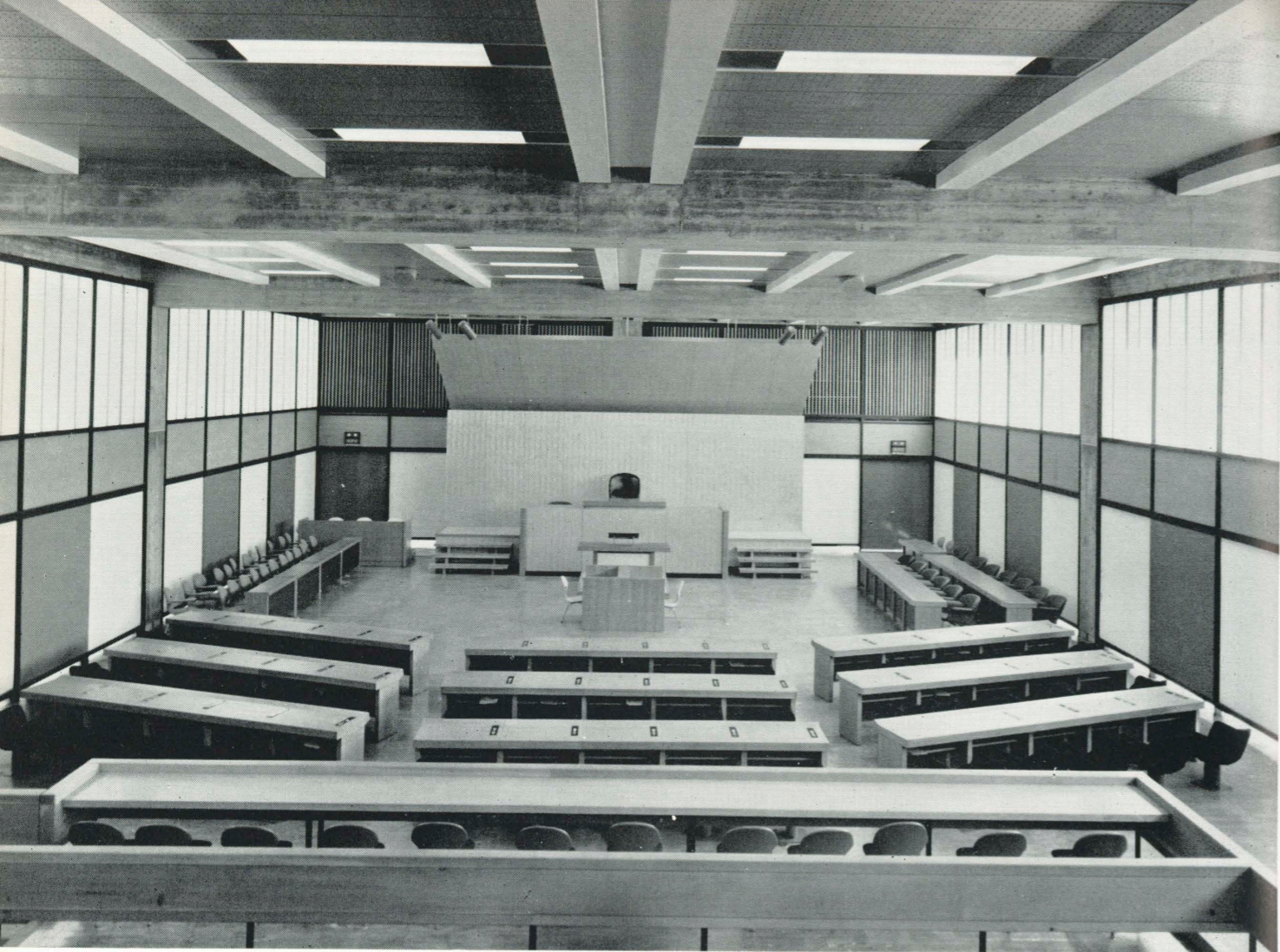
Kagawa Prefectural Office, Takamatsu



屋上ペントハウス廻り

ピロティ

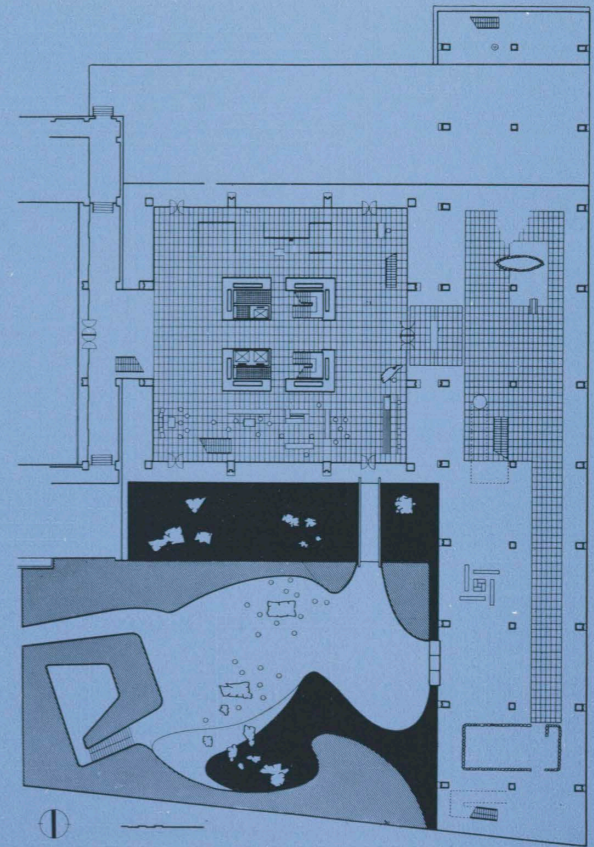




議 事 堂  
ホ ー ル

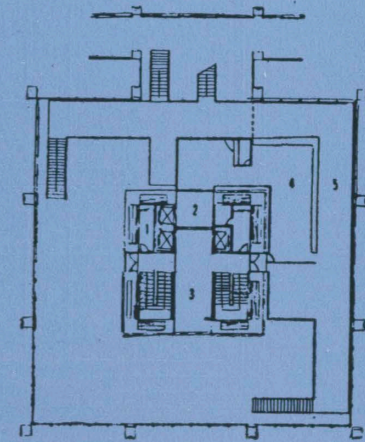


1 階 平 面 図



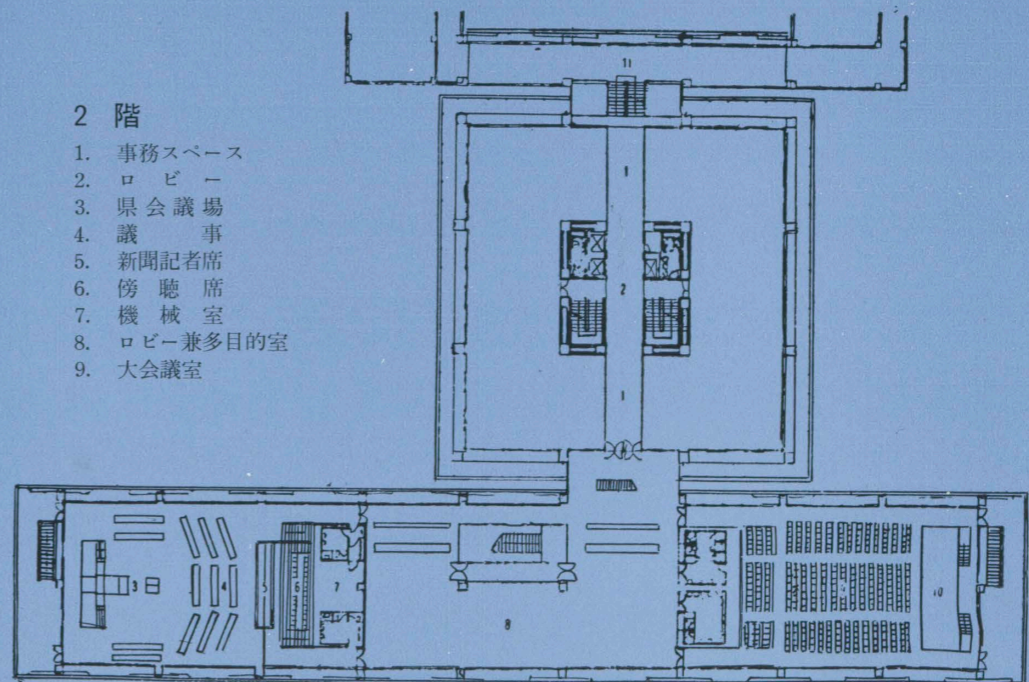
中 2 階

- 1. 倉庫
- 2. 金庫
- 3. ロビー
- 4. 銀行
- 5. 待合



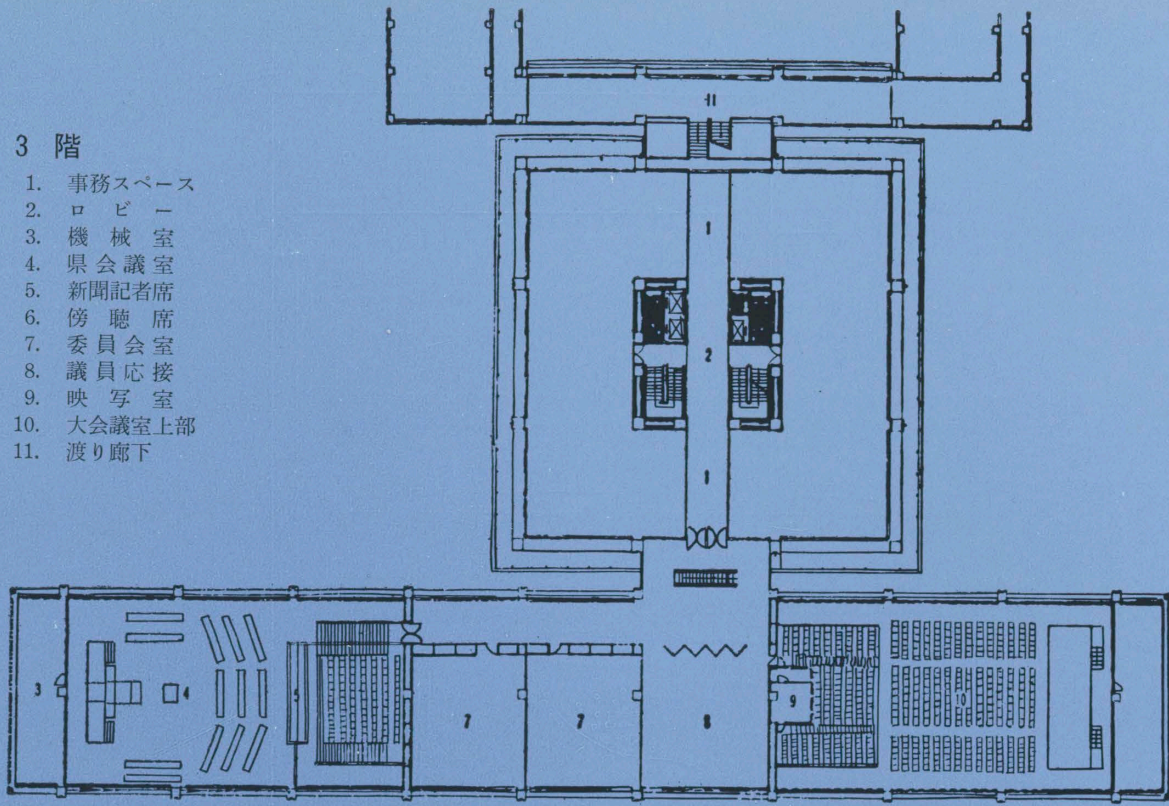
2 階

- 1. 事務スペース
- 2. ロビー
- 3. 県会議場
- 4. 議事
- 5. 新聞記者席
- 6. 傍聴席
- 7. 機械室
- 8. ロビー兼多目的室
- 9. 大会議室



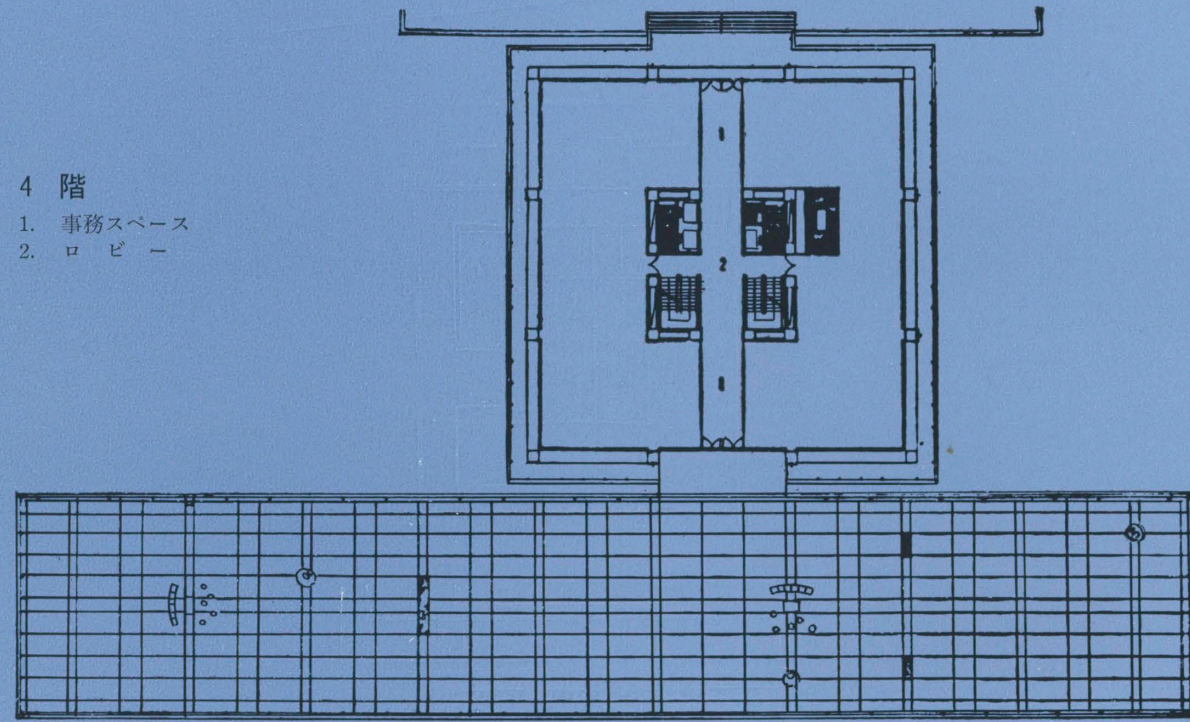
3 階

- 1. 事務スペース
- 2. ロビー
- 3. 機械室
- 4. 県会議室
- 5. 新聞記者席
- 6. 傍聴席
- 7. 委員会室
- 8. 議員応接
- 9. 映写室
- 10. 大会議室上部
- 11. 渡り廊下



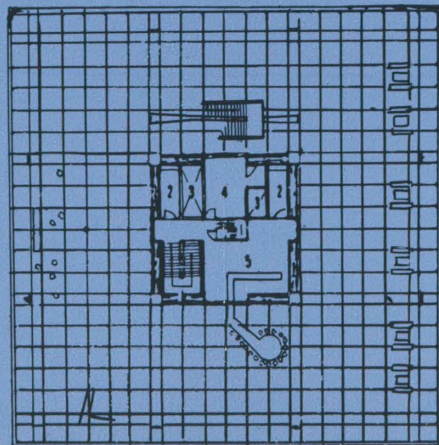
4 階

- 1. 事務スペース
- 2. ロビー



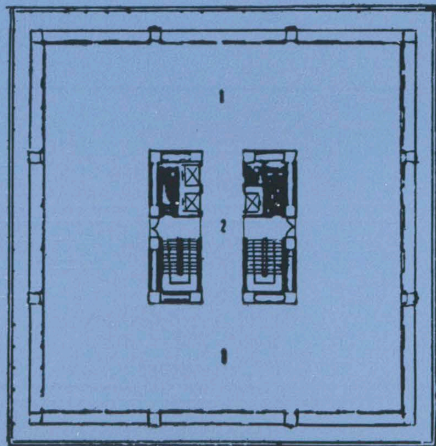
塔屋1階

- 1. 排気ダクト
- 2. 水槽室
- 3. エレベーターシャフト
- 4. 電気室
- 5. 喫茶室

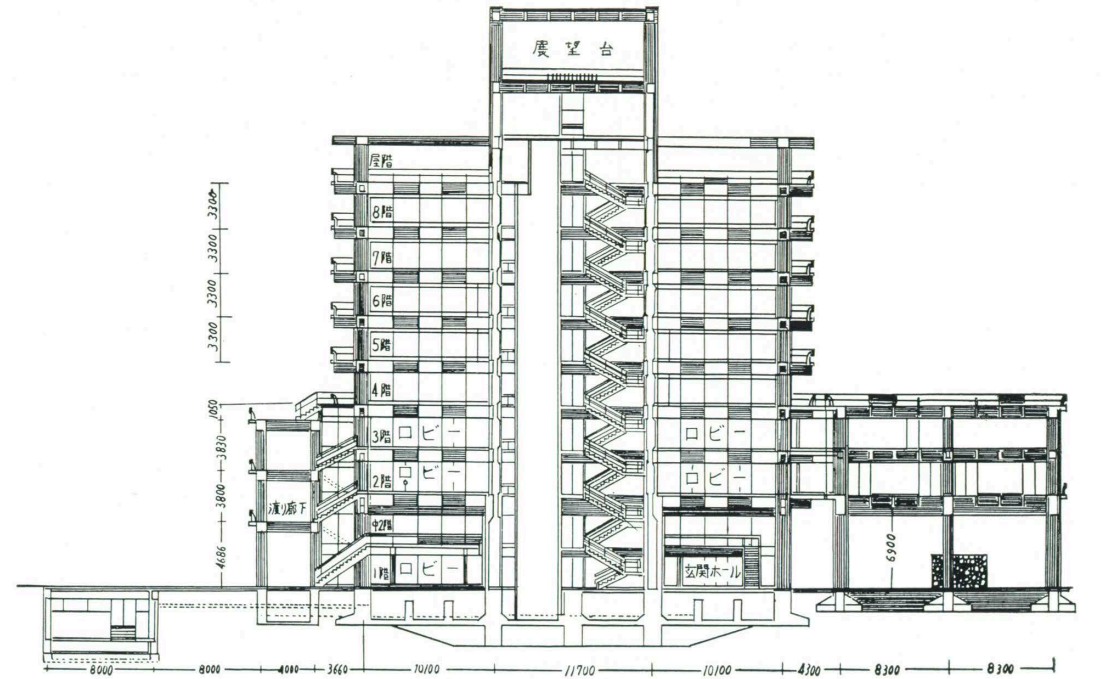


基準階

- 1. 事務スペース
- 2. ロビー



断面図



工事概要

所在地	高松市天神前
敷地面積	5,700 坪
建物面積	既存建物 2,600 坪 新築建物 3,647.1 坪 (ビロテイ, テラスを除く室内面積)
内訳	
	高層部 2,706.6 坪
	低層部 725.2 "
	渡廊下 151.8 "
	地下室 63.5 "
高さ	8階屋上まで 31 m
	塔屋屋上 " 43 "
	低層屋上 " 14.4 "
階数	高層部 8階
	塔屋 3 "
	低層部 3 "
構造	鉄筋コンクリート造
設計期間	1955年1月～6月
工期	1955年12月～ 1958年5月